

広報



なきじん

毎月1日発行

1998

6月

NO.271

●今帰仁村の人口

男4,828人(+10) 女4,777人(+3) 計9,605人(+13)

世帯数3,278戸(+11) 平成10年4月30日現在

今帰仁御神



夏の味覚今帰仁産大玉スイカ
ゆうパックで全国へ

今帰仁村民憲章

- 一、みんなで守ろう 恵まれた自然と文化遺産を
- 一、みんなで作ろう うるおいとやすらぎのある村を
- 一、みんなで育てよう のびゆく力と豊かな心
- 一、みんなでめざそう 健康で希望に満ちた村を
- 一、みんなで築こう 平和で明るい活力のある村を

が売りもの。

今帰仁産スイカは輝く太陽のもと丹念に育てられ、糖度が十三度(平均十一度)とほとぼるの甘さが売りもの。

意欲をもやした。

出発式で親川局長は「今年はすでに五十個の注文があり滑りだしは好調。目標を三千個に地元特産品の拡大に貢献していきたい」と意欲をもやした。

今帰仁郵便局(親川恵一局長)のふれあい直送便「今帰仁産大玉スイカゆうパック」出発式が四月二十八日、郵便局の広場で行われ、関係者多数が見守る中早速、箱詰めされたスイカが全国各地を目指して発送された。



子どもたちを魅了したフルートの演奏



天底小学校の平成九年度家庭教育学級閉級式が二月十七日、同校体育館に全校生徒、先生、保護者多数が出席して行われた。

フルートの調べをあなたに

家庭教育学級閉級式

天底小

奏会が開かれ、会場はフルートとピアノの音色に終始包まれて心とむくむくときを過ごした。

学級長の具志トモ子さんは「フルートという洋楽のイメージがある。日本の曲を演奏するとまるで尺八と琴に聞こえ心が豊かになりました」と感動していた。

また四年生の岸本統子さんは次のように感想を述べた。「今日初めてフルートの音を聞いてびっくりしました。それは私がテレビなどを見て想像していた力強い音色とは違っていたからです。」

またピアノをひいている人の指を見ていると、目が回りそうなくらい速い動きをしていたので、人の心を動かす演奏ができるなんてほんとうにすごいなあと思いました」



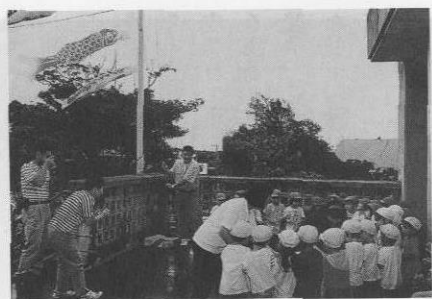
▲和やかに昔の思い出を語り合う



元気よく舞い上げれ

こいのぼり掲揚式

五月五日の子どもの日を前に四月二十八日、村コミュニティセンターで「こいのぼり掲揚式」が行われ、子どもたちの健やかな発育を願った。式には村内の中央、北山両保育所の園児ら三十人が参加、謝花恒明社会福祉協議会事務局長が「みなさんもこいのぼりのようにすくすくと育ってください」と園児らを激励した。



▲みんなでゆつくりこいのぼりを掲げる園児たち

本番さながらの浜下りを体験

入所者全員昔に思いを馳せる

和光園

医療法人光風会和光園では入所者が昔、浜下りをした感触をもう一度味わってもらおうと四月二十三日、当園前庭に砂を敷つめ砂浜を想定、本番さながらの浜下りを実施した。

浜下りは入所者全員を対象に行われ、歩けないお年寄りも車椅子に乗って参加、砂の上に準備されたテールを四〇五人で囲み、和気あいあいの中、昔の懐かしい思い出を語り合った。



納税で支えるみんなの今帰仁村 全職員、区長が収納出発式

村税収の対前年度収納率の大幅な落ち込みが予想される中、このような状況が続けば村の各事業実施に支障をきたすだけでなく、地域活性化にも大きな影響を与えると考え、村では収納対策連絡会を設置、役場全職員をはじめ、

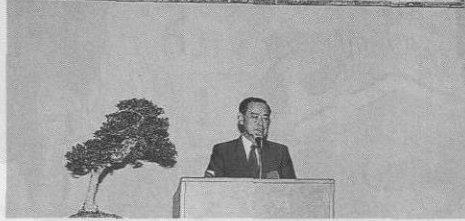


▲出発式で職員を激励する上間博安村長

各学区長の協力を得て一斉に収納にあたることになった。収納出発式は五月十五日、役場玄関前で行われ、上間博安村長が「収納率の向上で計画されている事業がスムーズに実施できるよう頑張ってください」とあいさつ。

その後、職員および区長が収納率のアップを目指して徴税に出発した。

平成10年度 学力向上対策委員会総会



▲21世紀を担う子どもたちについて熱く語る津留先生

平成十年度の学力向上対策委員会総会が五月十四日、関係者ら約百五十人が参加して村コミュニティセンターで開かれた。

総会であいさつに立った大城藤夫学対委員長は「これからも学校・家庭・行政が連携し、心を一つにしてたくましく生き抜く子どもに育てていきたい」と述べた。



▲総会には関係者多数が出席した

「今後引き続き学対を推進し、二十一世紀に活躍する子どもを育成していきたい」とあいさつ。

総会は、学対の具体的施策を確認するとともに、各部会の活動計画について協議を行い、本年度学対を充実・発展させる目的で開催され、平成十年度は「自らの問題を自ら解決していく能力の育成を求めて」の研究テーマで取り組みを強化することになった。

学対シリーズ(43)

平成十年度

学力向上対策委員会総会

自らの問題を自ら解決していく能力の育成を求めて



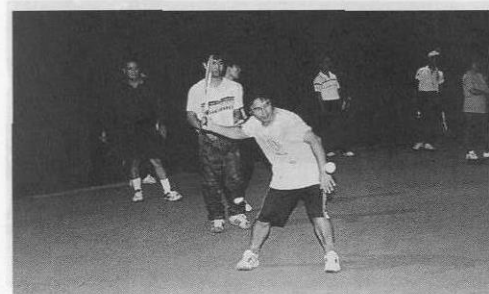
▲表彰されるベストグロスの高良初江さん

上位入賞者

			(グロス)	(ハンディ)	(ネット)
優勝	狩俣	馨	80	8.4	71.6
2位	平安	常弘	89	16.8	72.2
3位	高山	朝光	80	7.2	72.8

ベストグロス

男子	国吉	明	76
女子	高良	初江	84
団体	優勝	呉我山チ一ム	



▲練習に励む受講生たち

テニスで心地よい汗を流す

ソフトテニス教室

テニス教室を体験、心地よい汗を流した。

村教育委員会主催のソフト
テニス教室が五月十二日から
五月十九日まで実施され、村
内外から約二十人が参加した。
テニス教室は、悪天候のため
一部日程を変更し十九日まで
順延されたが、講師の新城
敦先生を中心に夫婦、親子な
ど和気あいあいの中で楽しい
汗を流した。

また、名護市から参加した
村出身の上原博和夫妻は「久
しぶりに二人で楽しく気持ち
良い汗を流した、これを機会
にスポーツに親しみ健康を維
持していきたい」と感想を述
べた。

決勝は湧川マリーズと今友会が対戦、序盤二点を先行した今友会が島袋、大城の継投で湧川マリーズの反撃を一点に抑え、接戦を制した。

湧川マ	0010000	1
今友会	1100000	X2

各賞は次のとおりです。

駆けつけた応援団を喜ばせた。

第三十一回 村野球大会

今友会接戦を制し、
三年ぶりに優勝

競技者のスポーツ精神の高揚と親睦を図る目的で第三十回村野球大会が四月十九日から五月十二日の間、村運動公園と村営グラウンドで開催された。

大会には、村内の各職場や同好会などから十三チームが参加、各チームとも随所に好評プレーや珍プレーが続出し、

○殊勲賞 大城秀輝 (今)
○敢闘賞 沢岷正樹 (湧)
○打撃賞
一位 島袋輝也 (今)
二位 上間 悟 (今)



▲ナイスピッチング、バッター三振

薄曇りの絶好の運動会日和の四月二十六日、「第十三回仲宗根区民運動会」が午前十時から今帰仁中学校グラウンドで開かれ、大勢の区民が参加した。

開会式で島袋光敏区長は「今日一日お互いの交流を深め楽しいひとときを過ごしま



▲軽快な足どりでリーム回し

仲宗根

しょう」とあいさつ。

運動会は四組の外間南海さん（六年）と照屋ユリ子さん（六年）が高らかに選手宣誓をした後、四チームに分かれて競技を開始、保育園児や幼稚園児、小学生の駆けっこ、一年生とおじいちゃん、おばあちゃんの玉入れ競争、パン食い競争などに熱戦を繰り広げた。

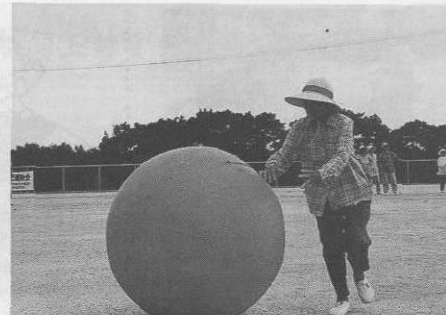
また昼食時に行われた学事
奨励会では、関係者が児童・
生徒を激励、ノートや筆記用
具が配られた。



▲アメ食い競争に悪戦苦闘の中学生

と那嶺区(山内清区長)の
区民運動会が五月三日、完成
したばかりの真新しい兼次小
グランドで行われ、幼稚園児
から小学生、中学生、PTA
会員、婦人会、老人会、青年
団、消防団員、郷友会など百
三十人が参加して久しぶりに
交流を深めた。

この日は、午前中終了間際から降り出した雨で競技が危ぶまれたが、それでも幼稚園児の駆けっこ、老人会の大玉



与那嶺

ころがし、婦人会と消防団によ
る千変万化などに区民の歓
声が響いた。

特に男子年代別リレーは、二十代から老人までの五世代にわたる与那嶺区独自の競技で、世代を越え力走する選手たちに応援団から盛んな拍手が送られた。

渡喜仁

五月十七日、渡喜仁区（豊



▲思うようにいかないなあ。パン食い競争

運動会は「区民の健康維持」と明るく住みよい区の建設」を目的に例年開かれており、今年も幼稚園児の駆けっこを皮切りに小一の父母と子による親子リレー、各班対抗障害競争、老人会のゲートボールなど十四種目に爽やかな汗を流した。

さらに今回は、新たにパン食い競争を種目に取り入れ、子どもたちやPTAが果敢に挑戦、なかなかパンが取れずにずるをして手を使う一幕も見られ、運動会はいやがうえにも盛り上がった。



▲一輪車で障害競争

保健婦だより

乳幼児健康診査の大切さを認識し、適切な対応ができるように

乳幼児健康診査とは、各市町村で行われている乳幼児健康診査・一歳六カ月児健康診査・三歳児健康診査をさします。その他、一カ月に達した乳幼児の健康診査が病院で実施される事もあります。村では、乳幼児健康診査を年三回、一歳六カ月児健康診査・三歳児健康診査を併せて年六回行っています。これは「母子保健法」第十二条、十三条に基づいて、公費で実施されるものです。それぞれの概要としては、次の通りとなっています。

乳幼児健康診査
趣旨：身体発育途上にある適応力の弱い乳児について、異常の有無を早期に確認し、

乳幼児健康診査の種類

こんにちは、さわやかな初夏を迎え、村民の皆様いかがお過ごしでしょうか。

村では毎年、保健予防活動の一環として、様々な事業を行っています。今回はその中の「乳幼児健康診査」について述べたいと思います。

必要な指導を行う。

内容：身体発育の異常の発見（股関節脱臼、心臓の異常等）、離乳指導、生活指導及び予防接種の指導、また心身の異常の発見（行動異常、精神発達の異常等）、育児指導等がある。

項目：問診、診察、尿検査、貧血検査、身体計測、栄養指導等。

△一歳六カ月児健康診査

趣旨：幼児初期の身体発育、精神発達の中で歩行や言語等、発達の目安が最も容易に得られる一歳六カ月の時点において健康診査を行うことにより、運動機能・視聴覚等

の障害、精神発達の遅れなどを早期に発見し、適切な指導をする。同時に、生活習慣の自立、虫歯の予防、幼児の栄養、食生活その他育児に関する指導により幼児の健康保持・増進を図る。

項目：問診、身体計測、診察、歯科検診、育児環境や予防接種実施状況のチェック、貧血検査、尿検査、栄養指導等。

△三歳児健康診査

趣旨：幼児期において、身体発育及び精神発達の面から最も重要な時期である三歳児に対し、医師・歯科医師による総合健康診査を実施すること

とによって、幼児の健全な育成指導及び措置を行う。

項目：問診、身体計測、診察、歯科検診、視覚・聴覚検査、尿検査、育児環境や予防接種実施状況のチェック、栄養指導等。

以上、その時期によって検査項目が加わっている所もありますが、異常を早期に発見、適正な指導を行い、健全な成長発達を促すという点においては、全てに共通しています。

発達には個人差があり、その時だけで判断するのではなく、経過を見ながら異常を確認することもあります。

一度受診して、健康とわかったので大丈夫ということはありません。その時期に際して子どもの成長発達の状態を確認し、より良い育児・適切な対応ができるようにするためにも、乳幼児健康診査を受けるようにしましょう。



△大切な我が子のためにも乳幼児健康診査を受けましょう。

やんばる駅伝伊江島大会・六位 島袋誠選手が区間賞を獲得

五月九日、真夏を思わせる暑い日差しの中、第八回やんばる駅伝競走伊江島大会が伊江村のシンボル・（タッチユ）を一周するコースに北部十二市町村から十五チームが出場健脚を競った。

レースは予想通り本部、国頭の両チームが抜きつ抜かれ

つの激しいデッドヒートを演じ、終盤地力に勝る本部が逆転で大会史上初の四連覇を達成した。

また本村は第三区で島袋誠選手が区間賞を取るなど、各選手とも健闘したが、昨年と同順位の六位にとどまった。



「今帰仁の駅 そ〜れ」 オープン 観光産業の活性化に期待

村中央公民館の南側に赤瓦屋根とスライカをイメージした特徴ある建物「今帰仁の駅 そ〜れ」が四月二十九日オープン、関係者ら多数を招き午前十一時からセレモニーが行われ、テープカットや今帰仁子ども太鼓いまじんなどの演舞でカーリ付けをして開所を祝った。

主催者を代表して上間博安村長は「生活改善グループを中心に生産される農産物の付加価値を高め、村の特産品が生まれることを期待したい」とあいさつ。

式典終了後に店内が披露されるとオープンを待ちかねた人たちがこた返し、店頭に並べられたスライカやその他の特産品が飛びように売れていた。

この施設は特産品の加工・直売をはじめ、村民の交流の場、情報発信の場としての役割を担い、地域の活性化を図ることが目的。

施設の概要は（延べ床面積・四百四十四平方メートル）に研究ちゅう房、事務室、談話室、直売コーナーを設置、総事業費は約一億四千万円となっている。



△完成したばかりの漁具倉庫・水産物処理施設

古宇利漁港内に「漁具倉庫・水産物処理加工施設」が落成

今帰仁村漁業協同組合（古宇利重組）の「漁具倉庫・水産物処理加工施設」の落成式が四月十七日、古宇利漁港内に組合員をはじめ関係者多数が出席して行われた。

同施設は漁具の保全及び作業効率の改善を図るとともに水揚げした水産物に付加価値をつけ、組合員の生活安定と漁業生産の向上が目的。総事業費は約五千八百万円。

古宇利重組組合長は「今回新築された施設を大いに活用し漁業生産を拡大していきたい」と話し、今後さらに組合員が一丸となって水産業の振興に取り組みすることを約束した。



△炎天下で各選手と力走した伊江島大会

北山高校創立50周年 その草創期を顧みる(6)

運天政一 陸上遂に頂点に立つ



五期生を「初の国体表彰台」に立たせた我が母校北山の陸上陣は、六期生の時代を迎えて、男女ともに優勝の栄冠を勝ち取り、さらに戦後初の高校駅伝にも優勝して、三本の優勝旗を獲得、文字通りの完全優勝で、遂に沖縄高校陸上界の頂点に立ったのである。

今号では時代を四十五年前にタイムスリップさせ、一九五三年十一月十四日と十一月二十六日の新聞記事を眺めながら、私の記憶のズレとピントを合わせつつ、高体連主催第一回全島高校陸上競技大会と第一回全島高校駅伝競走大会を振り返ってみよう。

「高体連主催 文教局並びに名護町後援の第一回全島高校陸上競技大会は快晴に恵まれて、十三日朝九時半から名護町新総合グラウンドで十九校のチームが参加して白熱戦を展開・(中略)・北山 名護 那覇の三チームが最後まで予断を許さぬシーソーゲームを演じ、男女とも北山高校が優勝した。」(沖縄タイムス)とある。

この年は沖縄の高校スポーツ



▲高体連主催第1回全島高校陸上競技大会
男女優勝(昭和28年11月)記念撮影
(手作り石造校舎を背景に)

ツにとって歴史的な年で、現在の高体連が誕生し、陸上も駅伝も第一回大会を催し、また名護町にはじめて総合グラウンドができた年でもあった。

さて、記事を追いつながら総括回想する。北山優勝の原動力はまず一人二種目制覇が三つもあったこと、大村光洋(七期 具志堅)の三段跳と走幅跳、與那嶺貞子(七期 渡喜仁 現姓豊里)の砲丸投と

円盤投、大城昭子(八期 兼次 現姓玉城)の二百米と走幅跳、その他、優勝種目として、喜屋武義明(八期 今泊 故人)の一万米、松田正子(八期 与那嶺 現姓喜屋武)の百米の二種目、二位に入つたものに、金城幸明(先号で紹介)の走高跳、城間辰巳(七期 具志堅)の砲丸投、それに千六百米リレーの三種目がある。

おやつと思ったのは、この優勝の年にお家芸の千六百米が一位になっていた。私は当然一位と思っていたが、そうではなかった。ただ、それを連想させる生々しい記憶として、陸上部キャプテンの湧川真佐夫(六期 今泊 故人)が、同じ北山の釜の飯を食って育った後輩の比嘉良信(七期 名護に転校)に四百米で負けたことである。この印象は真佐夫の無念の表情とともに強烈で、今も鮮やかに残っている。

総じて言えること、それは有力選手の層が厚くしかも各学年に均等にいると言うバランスの優勝であったと思われる。

話を駅伝に移そう。「全国高校駅伝派遣代表チームを決める高体連主催第一回全島高校駅伝競走予選大会は、雨上がりのどんより曇った絶好の長距離レース日和に恵まれた二十二日朝十時半、十七チームが参加して起点の石川橋から一斉にスタート、全長七区間四〇・九六キロにわたる走破

(次ページへ)

戦を展開、猛烈な競り合いを演じた末、北山高校が二時間二十九分三十七秒の好記録で優勝、晴れの本土派遣代表チームに決まった。」(沖縄タイムス)とある。

さらに、記事は猛烈な競り合いをかなり克明に記しているが紙面の都合で省く。記事を総括すると、象徴的なのは優勝しながら区間賞を誰もとっていない。(ダントツと思われていた義明さえも)これも陸上の優勝と同様バランスの勝利と言ふことか。

ちなみに、この時の選手を走者順に挙げてみる。池原源次(六期 今泊)、玉城貞次(七期 今泊)、大村光洋(前出)、照屋全隆(七期 天底)、山内虎男(六期 与那嶺、湧川真佐夫(前出)、喜屋武義明(前出)の諸君である。

記名しながら思った。往時のどの顔も鮮やかに思い出される。五〇周年記念式典で出会った判るであろうか。再会を切に願う。(同窓生は敬称略 女性旧姓をメインにした。)

現在今帰仁城跡は、史跡整備事業の一環として城壁修復事業を継続して進めているが、平成一〇年度に予定している城壁修復に伴って、城壁の規模や構造の確認を行う目的で発掘調査が行われた。

(写真) 調査地点は志慶真門から西に二〇m程の地点で、城壁を凸状に外に張り出させていることで眺望を良くさせている。このような構造の城壁を中国では「馬面」と呼ばれ、その特徴的な構造は日本本土には見られず沖縄独自のもので、中国大陸からの影響と考えられるのが一般的だが、地形に起因する構造だと言う指摘など諸説もある。いずれにせよ、この独特の景観はグスクを語る上では欠かせないもの

今帰仁城跡「世界遺産の登録」を目指し ただ今申請中！(2) 「お城の外から鉄鏃が見つかる」

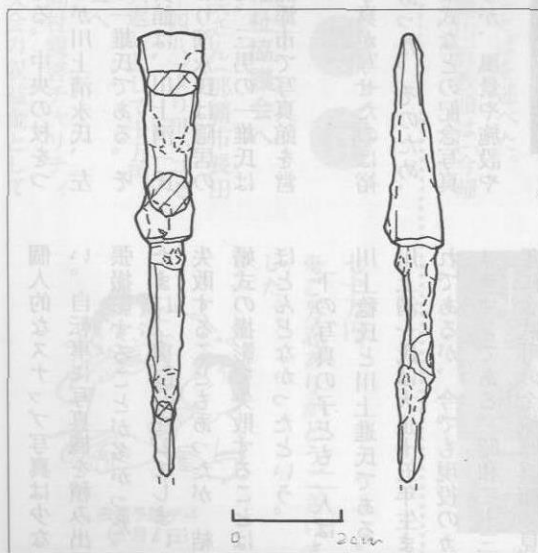
のとなっている。

さて今回の発掘調査では多くの鉄鏃が見つかった。(図)鉄鏃とは鉄製の矢じりを意味し、人を殺すための武器のこと。矢は弓弦につがえて射る道具で、時にイノシシや小動物を追う、戦争では人へ放たれる。矢の柄の元には普通鳥の羽を付け、先端には鉄を付ける。鏃はグスク時代(今から七八〇年前)には鉄を用い、これを人に向け争っていたと考えられている。今回見つ

つた鉄鏃は総計九本で、すべて城の外から出土していて、城内の調査でも鉄鏃はたくさん得られているが、それにも増して生活と関わる多くの陶磁器類が検出された。調査では陶磁器類はわずかに二点であるのに対し鉄鏃は九点も見つかったっており、優美な青や白の中国陶磁器に囲まれる城内とは対照的に、城の外から出土する武器はかつてこの地で展開した攻防を彷彿させる。



▲発掘調査の様子



あまから 伝言板 くまから

消防設備士試験

試験日時: 平成10年8月30日(日) 午前10時開始
 試験種類: 甲種(第1類~第5類)、乙種(第1類~第7類)
 試験会場: 沖縄国際大学、宮古広域消防本部、八重山農林高等学校
 願書受付期間: 平成10年7月21日(火)~7月27日(月)
 願書配置先: 消防試験研究センター、各消防本部、宮古、八重山支庁振興総務課
 受付方法: 試験センターへ郵送又は直接窓口へ持参
 受付場所: (財)消防試験研究センター沖縄県支部
 及びお問い合わせ 那覇市旭町14番地
 自治会館5階 ☎098-867-5332

◆ 特設人権相談のお知らせ ◆

1. 日時 平成10年6月17日(水)、10時~15時
2. 場所 村コミュニティセンター
3. 相談担当者 法務局職員、地元相談員

今帰仁村字渡喜仁267 謝花 勝子 ☎56-2716
 今帰仁村字諸志171 島袋 輝志雄 ☎56-3224
 今帰仁村字仲宗根301 三輪 茂穂 ☎56-2183
 今帰仁村字仲宗根339 諸喜田スエ子 ☎56-2127

※相談は無料で、秘密は守られます。お気軽にご相談下さい。

第10回 今帰仁村壮年ソフトボール大会

主催 今帰仁村壮年ソフトボール協会

村壮年ソフトボール協会では、日頃スポーツに親しむ機会の少ない壮年を対象に健康の増進、愛好者の育成と参加者の親睦を目的に次の要領で開催します。

1. 期 日 平成10年6月21日(日)
2. 会 場 運動公園サブグラウンド
3. 参加資格 昭和33年までに生まれた方で、登録選手は20名以内。
4. 服 装 できる限り統一ユニフォームを着用し、できないチームについては、運動着にチーム名、背番号をつける。
5. 詳しい事は教育委員会社会教育課 ☎56-2645・2647までお問い合わせ下さい。

ご寄付

村社会福祉協議会へ
 ○玉城澄夫さん(那覇市長田二二三~四八)より母、ゴゼイ様の香典返しとして十万円、村育英会へ
 ○第十一回村親善チャリティゴルフ大会の収益金として

七十万円。
 ※ご芳志ありがとうございます。



虫歯予防デー
(6月4日)

北山病院の光武先生が 兼次中へ百科辞典を寄贈

医療法人光風会北山病院の光武俊和先生は四月十五日、兼次中学校(高江洲進校長)を訪ね「お世話になってる地域の子どもたちの教育に役立ててください」と百科辞典三十二冊を寄贈した。



▲百科辞典の贈呈式

写真にみる今帰仁

91

天底山岳(サンタキ)の川上写真館

今帰仁村字天底の山岳(サンタキ)に川上写真館がある。創設者は故川上清永氏(明治三十四年生)で昭和九年に大阪から帰郷し、湧川の川竿・仲宗根の旧市場、さらに現在地の山岳に移転してきた。清永氏は大坂で写真の原料をつくる工場に勤め、写真の技術は安仁屋という方に習ったという。昭和九年沖縄に帰郷して写真館を始めたが、昭和十九年になると戦争が厳しくなったので一時写真館をやめた。



▲天底の山岳(サンタキ)の川上写真館(昭和28年)



▲川上写真館前の子どもたち(昭和28年)(川上清一氏撮影)

戦後は宮古出身で友利という人が西平医院の隣で写真館を開いていた。川上写真館は戦後昭和二十三年頃、清永氏から清一(大正十五年生)氏に引き継がれ、現在に至っている。

写真上は昭和二十八年の川上写真館の様子である。まだ茅葺き屋根の建物で、「川上写真館」「迅速」「丁寧」と書いた看板と写真を貼った掲

示板が見える。中央の杖をうっているのが川上清永氏、左側の三男の一雄氏である。その頃の写真館は、川上清一氏が継いでおり清永氏は隠居の身であった。三男の一雄氏は最近まで浦添市で写真館を営んでいた。

戦前、写真が写せたのは裕福な家であった。そのため、学校の卒業式などの記念写真はよくあるが、風景や施設や個人的なスナップ写真は少ない。自転車に写真機を積み出張撮影することが多かった。たまに二重写しをしてしまい失敗することもあったが、結婚式の撮影で失敗することはほとんどなかったという。

下の写真の子ども二人は、川上稔氏と川上進氏である。川上清一氏は大正十五年生まれであるが、今でも現役のカメラマンである。昭和二十三年に金武町の金城写真館で見習いをし(二ヶ年)、その後石川で写真の引き伸ばしの仕事をした後、今帰仁で家業の写真館を継いだ。

五十年余り写真に携わってきた川上清一氏は、自転車で屋敷地まで出張、撮影依頼が多く夜遅くまでかかり、次の家は間に合わせきれず怒られた等様々な思い出がある。特に「天底小学校五十周年誌」が思い深いという。写真業界で「一番の転換はモノクロからカラーになったことです」と感慨深く語られる。

仲原 弘哲
(歴史文化センター)

6月/水無月

1 月	○心身障害児通園事業（土日、祝祭日除く毎日）（9：00～17：00コミセン） ○ディサービス（土日、祝祭日除く毎日）（9：00～17：00コミセン）
2 火	○今婦仁郷友会チャリティーゴルフ大会
3 水	○心配ごと相談（13：30～16：30 コミセン） ○狂犬病予防接種（モレ）○リハビリ教室（13：30～15：30 コミセン）
4 木	
5 金	○区長会（14：00～ 2階会議室）
6 土	○おもちゃ図書館（13：00～17：00 コミセン） ○少年の主張大会
7 日	○海神祭ハーリー（運天漁港）
8 月	○DPT予防接種
9 火	○1才半・3才児検診（13：20～ コミセン）
10 水	○心配ごと相談（13：30～16：30 コミセン） ○リハビリ教室（13：30～15：30 コミセン） ○村まつり実行委員会
11 木	
12 金	
13 土	○おもちゃ図書館（13：00～17：00 コミセン）
14 日	○村ソフトボール大会
15 月	
16 火	○牛セリ（セリ市場）
17 水	○心配ごと相談（13：30～16：30 コミセン） ○リハビリ教室（13：30～15：30 コミセン）
18 木	○歯科相談（13：00～14：00）
19 金	○区長会（14：00～ 2階会議室） ○日本脳炎予防接種（3才）（12：30～ コミセン） ○老人クラブグランドゴルフ大会（運動公園）
20 土	○おもちゃ図書館（13：00～17：00 コミセン）

21 日	○壮年ソフトボール大会
22 月	
23 火	○慰霊の日 ○ミニバスケットボール大会（村民体育館） ○月例記録会（17：30～運動公園）
24 水	○心配ごと相談（13：30～16：30 コミセン） ○リハビリ教室（13：30～15：30 コミセン）
25 木	○「朝読み・夕読み」表彰式（コミセン）
26 金	○老人クラブ大会
27 土	○おもちゃ図書館（13：00～17：00 コミセン）
28 日	○村PTAバレーボール大会（村民体育館）
29 月	○日本脳炎予防接種（3才）（12：30～ コミセン）
30 火	

7月/文月

1 水	○心配ごと相談（13：30～16：30 コミセン） ○リハビリ教室（13：30～15：30 コミセン）
2 木	
3 金	
4 土	○おもちゃ図書館（9：00～12：00 コミセン） ○郡野球大会
5 日	○郡野球大会
6 月	○区長会（14：00～ 2階会議室）
7 火	
8 水	○心配ごと相談（13：30～16：30 コミセン） ○リハビリ教室（13：30～15：30 コミセン）
9 木	



編集後記

今年ほど大雨に悩まされた年も珍しい。つい先日
も農家の皆さんが丹精込
めて作り上げたハウスイ
カに大きな被害をもたら
した。収穫を前に胸を弾ま
せていた矢先のできごとで
ある。農家の胸の内を思
うと、いくら天災とはいえ
何ともやるせない。

ゴールデンウィークを過
ぎた頃から本格的な夏が
到来、交わす言葉も暑い
ですねーの一言に尽き
る。そしてビールのおい
しい季節である。仕事が終
った後の同僚たちとの一
杯、スポーツやジョギン
グの後一杯はまさに気分
爽快、言葉では表現でき
ません。

